

# 第60回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 令和元年9月24日(火) 18時00分から 20時00分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

## ・出席委員

|      |           |         |
|------|-----------|---------|
| (会長) | 関 根 雅 彦   | 阿 部 正 和 |
|      | 新 谷 弘 昌   | 安 井 敬 子 |
|      | 高 松 克 志   | 菅 野 弥 生 |
|      | 角 野 い づ み | 藤 本 米 子 |
|      | 茂 山 守     | 吉 本 信 子 |

## ・欠席委員

|           |         |
|-----------|---------|
| 中 野 陽 一   | 富 岡 英 雄 |
| 櫻 井 菜 穂 子 | 河 村 竜 太 |
| 安 井 美 智   | 隅 田 典 代 |
| 田 辺 亜 由 美 | 有 部 正 治 |
| 山 根 好 子   |         |

## ・事務局

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 市民環境部長          | 藤 崎 昌 治   |
| 市民環境部理事         | 平 山 純 子   |
| 廃棄物対策課長         | 上 田 康 次 郎 |
| 環境保全センター施設課長    | 川 崎 一 利   |
| 環境保全センター施設副課長   | 植 田 昌 吉   |
| 廃棄物対策副課長        | 河 口 育 太   |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係長  | 河 村 真 彦   |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主査 | 池 田 忍     |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主任 | 西 田 涼 子   |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係   | 門 田 友 亮   |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係   | 大 田 翔 子   |

## ・資料

- 1 (資料1) 前回の審議会でご出されたご意見
- 2 (資料2-1) 排出量単純比例型(指定袋方式<一括購入・一括販売方式>)
- 3 (資料2-2) 一定量無料型(超過有料制)
- 4 (資料3) 指定ごみ袋の素材・種類について
- 5 (資料4) 草木の排出方法について
- 6 【参考資料】(前回配布:資料4) 手数料の負担額についての検討
- 7 【参考資料】3Rくる vol.17

## ・次第・議事録

### 1 議題

- (1) 手数料の料金体系について
- (2) 手数料の徴収方法の検討
- (3) 手数料の負担額についての検討
- (4) 指定ごみ袋の素材・種類について

|     |                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会長  | <p>本日の議題は4つ、(1)「手数料の料金体系について」、(2)「手数料の徴収方法の検討」、(3)「手数料の負担額についての検討」、(4)「指定ごみ袋の素材・種類について」である。(1)、(2)、(3)については、前回議論したことであり、前回のまとめに対して議論を行い、(4)については、新たな議題ということになる。</p> <p>まず、先にすべての資料の説明を行ってから議事に入る。では、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>説明の前に確認を行いたい。指定ごみ袋制度の見直しについては、現行の月・水・金の燃やせるごみ専用の袋のみを対象に審議いただいていると認識しているが、今回の制度の見直しについては燃やせるごみの指定袋のみに留めるのか、燃やせないごみ等の袋についても見直しを行うのか、これまで改めて確認をしていなかったもので、まずはそのことについて確認したい。</p>                                         |
| 会長  | <p>他の種類のごみ袋に関しても今回の諮問に入れてよいのか。</p>                                                                                                                                                                                      |
| 事務局 | <p>審議内容に入れてよい。</p>                                                                                                                                                                                                      |
| 会長  | <p>みなさん、月・水・金の燃やせるごみの袋のみを対象とした審議ということでよいのか（一同了承）。今後議論を進める中で、ごみの減量のために他のごみ袋も有料化すべきだという意見があれば、議題に入れていきたい。本日の議論では、月・水・金の燃やせるごみの袋のみを対象に進めていきたい。では、事務局から説明をお願いします。</p>                                                       |
| 事務局 | <p>資料の順に説明</p> <p>(資料1) 前回の審議会で出されたご意見</p> <p>(資料2－1) 排出量単純比例型（指定袋方式＜一括購入・一括販売方式＞）</p> <p>(資料2－2) 一定量無料型（超過有料制）</p> <p>(資料3) 指定ごみ袋の素材・種類について</p> <p>(資料4) 草木の排出方法について</p>                                               |
| 会長  | <p>審議の進め方だが、議題4は最後に回し、時間があれば議論する。まず、資料に関する疑問のみを先に質問し、その後意見を聞きたいと思う。なにか質問はないか。</p>                                                                                                                                       |

|     |                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | 資料２－１の表について、ごみ処理手数料が 20 円とあるが、これは原価+20 円=購入価格か、それとも原価+手数料=20 円か。                                                                                        |
| 事務局 | 販売価格が 20 円のため、原価+手数料=20 円である。                                                                                                                           |
| 会長  | 資料２－２について、無料配布は現状の 8 割という話だったが、資料２－２の表の超過分は現状の 2 割の枚数ということか。                                                                                            |
| 事務局 | 超過分の枚数は、現在のごみ量のうち、目標の 368 g/人・日を超える量に対して必要なごみ袋の枚数である。                                                                                                   |
| 会長  | 資料２－２の試算では、一定量無料型は、目標を達成すると市の歳入はゼロになる。目標を達成したときに、他の経費等をまかなえるように値段を設定する必要があるかもしれない。                                                                      |
| 委員  | ごみステーションの設置や管理等は、地元で行っているが、有料化によって生じた収入は、地元に戻元されるのか。                                                                                                    |
| 事務局 | 有料によって生じた収入は、ごみの減量政策に使い、市民に戻元する。また、有料化で生じた収入の使い方についても審議会で議論していただく必要がある。                                                                                 |
| 委員  | 資料３のバイオプラスチックのことで、有料化の収入を使い、市から出る廃プラスチックをごみ袋にする施設を作るのはどうか。市民の意識も高まるのではないか。                                                                              |
| 委員  | 指定ごみ袋の大きさについて、４種類も必要か。導入の経緯を教えてください。                                                                                                                    |
| 事務局 | 指定ごみ袋は平成１４年に４０リットル、２０リットル、１０リットルの３種類で始まり、その後要望があり、１５リットルが追加された。                                                                                         |
| 委員  | １５リットルはあまり見ないが、需用はあるのか。                                                                                                                                 |
| 委員  | 私は大きいサイズの方がうれしい。小さいサイズは３つも必要か。                                                                                                                          |
| 委員  | 私の地元では２０リットルを配ることが多い。あまり大きいサイズの需要はない。                                                                                                                   |
| 会長  | <p>大きいサイズにすると早くごみ袋をいっぱいにして捨てに行きたいので、より多くごみを出すかもしれない。ごみを減らすという考えでは、小さいほうがよい。</p> <p>要望があり議論して、１５リットルを作ったという経緯があるが、市が買い取る場合はコストを考え、種類を減らすことも考える必要がある。</p> |

|     |                                                                                                                                             |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | ごみ袋有料化の目的を再確認したい。ごみの減量と焼却場の建て替え費用に充てるためと思っていたが、どうか。                                                                                         |
| 事務局 | 焼却場の建設費に充てることを目的とはしていない。目的はごみを減らすことであり、ごみが減ると次回建て替え時に焼却場を小規模のものにでき、建設費が抑えられるということである。                                                       |
| 会長  | 他に質問はよろしいか、では料金体系はどちらがよいか、手数料の負担額はいくらがよいか、一人ずつ聞いていく。                                                                                        |
| 委員  | 市に収入があり、環境対策にまわせるので、排出量単純比例型が良い。値段に関して、1円/Lは仕方ないと思うが、いかに市民に理解をもらうかが重量である。ダンボールコンポストを実施している人にごみ袋を配布するなど、ごみ減量に力を入れている人に対して何かメリットがあればさらに良いと思う。 |
| 委員  | ごみ減量を考えると、一定量無料型が良い。値段は、1円/Lとなると抵抗があるため、初めは低い値段（0.5円/L）で目標を達成できなければ上げていくと良い。                                                                |
| 委員  | 総合的に考えると、排出量単純比例型が良い。草木用シールを作ると費用がかかるため、料金の徴収方法については、ごみ袋だけで、草木に関しても袋を縛り付ける方がよい。値段は、0.5円/Lでスタートし上げていくのが良い。                                   |
| 委員  | 排出量単純比例型が良い。ごみ減量に力を入れている人にプレミアム券の配布等があれば良いと思う。また、1円/Lは妥当である。                                                                                |
| 会長  | ごみ減量に力を入れるとごみ袋代が少ないというメリットだけではダメか。何か配布するとなると事務量が増え、コストが上がる。                                                                                 |
| 委員  | 排出量単純比例型で、値段は、0.5円/Lと1円/Lの間をとって、0.75円/Lがあつて良いと思う。また、ごみ袋代が少ないというメリットだけで良い。また、目標が達成できなければ値上げすると市民にしっかり周知することができるならば、値上げ方式も良いと思う。              |
| 委員  | 排出量単純比例型が良い。デメリットで、ごみ減量に協力的な人にも負担がかかるがあるが、さらに努力をすればよい。1円/Lで良い。                                                                              |
| 委員  | 排出量単純比例型が良い。私は、値上げより値下げのほうが嬉しいので、1円/Lで始めて、良くなったら下げていくほうが良いと思う。                                                                              |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | <p>排出量単純比例型が良い。また、1 円/L くらいの方が必死になって減量しようと思うので、1 円/L で良いと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 委員  | <p>一定量無料型はややこしく、市民に理解を得にくい。広く市民に理解してもらうには、排出量単純比例型が良い。また、下関市と岩国市は同じく 0.75 円/L だが、ごみの量は 2 倍違う。なので、値段によって減量するというよりは、伝え方が大事では。0.5 円/L から始めて変更するのが良い。</p>                                                                                                                                                                                                                 |
| 会長  | <p>私は、一定量無料型が良いと思うが、排出量単純比例型もやむなしかなと思う。値段については、データから見ると 1 円/L だと思う。</p> <p>全員の意見を聞いて意見を変えたい人はいるか。いなければ、一定量無料型が 1 人、排出量単純比例型が 8 人、料金は 1 円/L が 5 人、0.75 円/L が 1 人、0.5 円/L が 3 人となる。多数決で決めるわけではないが、料金体系については、排出量単純比例型で結論を出してもいいか。</p> <p>また、料金については、反対意見がなければ 1 円程度とさせていただく。</p> <p>袋の種類については、シールはコストが上がるという意見があったが、前回の審議会で意見のあった紙袋についてはどうか。他市町村で紙袋を使用している地域の話を聞きたい。</p> |
| 事務局 | <p>例として、広島市では、昭和 51 年から紙袋を使用している。当時はポリ袋が普及しておらず、また焼却炉の耐久性の問題で紙袋を使用しなければいけなかったことが理由である。しかし平成 31 年 11 月から紙袋とポリ袋どちらでも排出できるようになっている。</p> <p>長野県飯田市では、同様に紙袋を導入していたが、焼却場の建て替えに伴い平成 29 年に紙袋からポリ袋に変更になった。</p> <p>可燃ごみは水分が多く紙袋が破れるため、紙袋を丸ごとポリ袋に入れて出されている等の理由から、紙袋を使用していた自治体もポリ袋に変わってきている。</p>                                                                                  |
| 会長  | <p>使い勝手からもポリ袋になってきているようだ。紙袋作成費用についてはどうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局 | <p>費用については調べていない。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 会長  | <p>では、次にごみ袋について、ポリ 100%、バイオプラスチック、紙のどれが良いか順番に聞いていく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 委員  | <p>紙はまずない。バイオプラスチックの効果があまりないなら、ポリ 100%が良いと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|     |                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | ポリ 100%とバイオプラスチックについては、どちらがよいか結論を出せない。                                                                                                                                                                                  |
| 委員  | 国が進めているので、このタイミングでバイオプラスチックに変えるのも良いと思う。                                                                                                                                                                                 |
| 委員  | バイオプラスチックはコストが高くなるが、環境に良いということで難しい。資料を見ると、米などを使っているが、宇部にはどのくらい使えるものがあるのか。                                                                                                                                               |
| 事務局 | バイオプラスチックの原料になるものが宇部市にあるかどうかは、調査をしていない。                                                                                                                                                                                 |
| 委員  | 原料が宇部になく、外部から調達するのはどうかと思う。                                                                                                                                                                                              |
| 委員  | 廃棄物からプラスチックを作ることができれば良いと思う。また、草木がバイオプラスチックになるのであれば、料金が高くても良いのではと思うが、今はポリ 100%が良い。                                                                                                                                       |
| 委員  | 宇部にバイオ原料がなければ、運搬の環境への負荷もあるので、ポリ 100%が良い。                                                                                                                                                                                |
| 委員  | 今回はバイオプラスチックの導入は見送るべきだ。まだ実施団体も少なく、宇部が取り入れるべきではない。                                                                                                                                                                       |
| 委員  | 竹はバイオプラスチックの原料にはならないのか。現実的かどうかは分からないが、可能であれば、今後のことを考えバイオプラスチックもありだと思う。                                                                                                                                                  |
| 会長  | <p>今日結論を出す必要はないが、原料を外部から持ってくることに賛成でないと。また、国の動向に今従うべきなのか、という意見がでた。</p> <p>次回、今回のまとめとともに竹など宇部市で発生するものでバイオプラスチックの原料になるものがあるか提示してもらいたい。また、国の動向に今従うべき強い理由があれば、それも提示してもらいたい。</p> <p>では、最後に結論は出さなくて良いが、草木の出し方について意見いただきたい。</p> |
| 委員  | 草木は、可燃ごみのどのくらいの量を占めているか。                                                                                                                                                                                                |
| 事務局 | 約 10%である。                                                                                                                                                                                                               |
| 委員  | 他市町村で焼却以外の処分を行っているところはあるか。                                                                                                                                                                                              |

|     |                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | すべて調査したわけではないが、県内で行っている自治体はない。県外については、自治会等が民間の処理施設に持っていく場合に補助を出しているところもある。       |
| 委員  | 草木の処理に困っていることはないか。                                                               |
| 事務局 | ステーション回収については、困っていることはない。                                                        |
| 委員  | 庭の剪定を頼んだことがあり、民間の処理施設に持っていったようだが、それは市の処理量に入るのか。                                  |
| 事務局 | 直接民間業者に持っていったものは、処理量に入らない。                                                       |
| 委員  | 草木は袋に入れないと、雨や風が強い日に散らばってしまう。ゴミ袋を縛り付けるのではなく、袋に入れるようにするべきだ。                        |
| 委員  | チップ材としてリサイクルできないか。                                                               |
| 会長  | 草木は無料ではいけないのか、リサイクルできないのか、次回までに事務局に他自治体の取組等について情報の整理をお願いする。<br>この度は、これで審議会を終了する。 |